5 自分はどんな生き方を願っているか

1. 題材設定の理由

勤労観、職業観については１年の身近な人々の職業、２年の職場体験を通して働いてみえる方の話を聞くなどから理解することはできる。

ここでは、働くことと生き方について目を向けさせ、自分の進路計画を考えさせる。生き方について考えている仲間の姿や、自分がどんな生き方をめざしているのかをつかみ、これからも多方面から考えて、進路決定しなければならないことを理解させたい。

2. 指導のねらい

将来どんな生活を送りたいか考えさせ、自己の進路に向かって今後、どんなことを考えながら、進路決定をしていかなければならないかをとらえさせる。

3. 指導計画（全１時間）

事 前	・「**1－9**」「**2－9**」の進路計画を振り返らせておく。
本 時	・仲間との交流の中で、生き方を多方面から考え、自分の進路計画を決定していくことに気づく。
事 後	・「将来の生き方」を目標にしていくように認め励ます。

＜説話例＞

どんな生き方をしたらいいか、先生だって悩むことがあります。ふと見たTVで、世界で活躍する偉い人を紹介する番組を見ました。

その方は、雨宮清さんという人で、23歳でエンジニアとして建設機械会社（油圧ポンプを利用したショベルカーを開発する会社）を設立し、順風満帆な人生を歩んでいたそうです。12年前、47歳の時に仕事で初めてカンボジアを訪れ、想像を超える貧しさと、地雷（内戦があり、いたるところに地雷がしかけてある。）で手足を失った子どもたちを目の当たりにします。その時「もし自分の家族が地雷の被害にあったら自分はどういう思いをするだろうか」という気持ちが技術屋である雨宮さんのプライドに火をつけ、なんとか地雷除去を成功させたいと強く思ったそうです。

それから爆発による衝撃や熱に耐えうる地雷処理機を造り、地雷を取り寄せ何度も耐久テストを重ね、改良し1998年に第一号機が完成し、1999年よりカンボジアで処理を開始。現在では世界６カ国で54台の地雷処理機が活躍しています。

地雷撤去に携わって８年、雨宮さんの地雷処理機は、従来の手作業の20倍のスピードでの作業を可能にし、地雷を爆破してから除去できるようになり、安全性も格段に向上しました。実際の地雷処理機に自ら乗り込み地雷撤去を行っている雨宮さんを見た時、なんてすごい人なんだと思いました。

雨宮さんの熱い思いは地雷除去のみでなく、雨宮さんの造り出した地雷処理機には、地雷処理後、農地としてその土地を整備し耕せるように農耕用アームもついていました。番組中、５年前に地雷撤去を行ったという元地雷原へ雨宮さんたちが訪れる場面があり、その土地は現在美しい畑となっていました。これが本当のカンボジアの姿なんだと思いました。また、その畑を見つめる雨宮さんの顔には成功した喜びの表情があり、感動しました。

雨宮さんの生き方を知り、自分だけのために生きる生き方しか考えていなかったのですが、人のために生きられたら、すばらしい生き方ができるのではないかと感じました。雨宮さんほどのことはできないかもしれないけれど、ほんの少しでも人のために生きる進路を選んでみたいと思いました。

誰もが雨宮さんのような生き方ができるわけではありません。雨宮さん自身、47歳でカンボジアに仕事で訪れる機会があったことがきっかけで、生き方が変わったのです。みなさんにもそのような、人生のチェンジがあるかもしれません。大切なことは、何気なく生きるのではなく、その時その時に自分の生き方を見つめることです。

	活動のねらい	活 動 の 内 容	指導・援助の留意点	資料等
はじめの活動	・様々な生き方について理解を深め、自己の興味・関心を確かめることができる。	◎将来どんな生活を送りたいか①～⑥から１つ選び理由を発表する。 ①家族第１、仕事は第２ ②なにがなんでも有名人 ③仕事と生きる　キャリアウーマン、エリート社員 ④趣味に没頭！５時から男、５時から女 ⑤一攫千金、億万長者！ ⑥ボランティア。自分のためより、人のため	・①～⑥の生き方について簡単な解説を加えながら記入させる。 ・その際、選んだ理由を簡単に説明させる。	
	課題：あなたは、将来どんな生活を送りたいと考えているかまとめてみよう。			
中心的な活動	・仲間の多くの意見を参考にして、自分の生き方とくらべ、自分の進路計画に対する考えをまとめることができる。	◎グループで自分の選んだ生き方のよい点と問題点を話し合う。 よい点　①家族は大切。家族が温かい、愛情が育つ ②収入が多い、まわりから人気 ③かっこいい ④自分の好きなことができ、楽しく過ごせる ⑤遊んでくらせる ⑥得るものが多い、達成感がある 問題点　①ある程度収入がないとぎくしゃくする ②調子が悪いと収入が減る ③結婚しにくい、離婚しそう、子育てが大変、ストレスがたまる ④遊びすぎて金に困る、家族からいやがられる ⑤億万長者になるまでが大変、心が失われる、働く大切さをしらない ⑥お金に困る ◎グループで話し合ったことを交流する。 ◎仲間との交流から、あらためて自分の進路計画は、どれにあてはまるかP.67[1]に記入し確認する。	・よい点、問題点を記入する時は①～⑥の番号を最初に記入してから話し合った内容を書いていくとよい。 ・環境や育児、金銭的なこと、結婚、老後など、多方面から話し合うことができるようにする。 生き方 ／ よい点 ／ 問題点 ① 家族第１、仕事は第２ ④ 趣味に没頭 ⑥ ボランティア 楽しい生活　人のため ・黒板に模造紙をはり、説明させる。 ・代表者の発言を尊重して、話し合いの内容を広める。 ・P.67[1]の１～８の生き方について補足する。	・グループごとに左のような枠を用意しておき、よい点・問題点を書くための模造紙、マジックで書き込みはりつけるカードを作成させる。 ・P.67[1]
まとめの活動	・「将来の生き方」をテーマに書き、どんなことを考えながら進路決定をしていかなければならないかをまとめることができる。	◎「将来の生き方」をテーマにP.67[2]に記入し、交流する。 ※教師の説話	・静かに自分の考えを振り返らせ、書かせるようにする。 ・優劣をつけるのではなく、どの考えも尊重し認めていく。	・P.67[2]